

地球規模生物多様性概況第2版 (Global Biodiversity Outlook 2: GBO2) の概要

- ・ GBO 2 では、CBD事務局が2010年目標の進捗状況を評価するための15の指標により生物多様性の状況を評価。COP 8において報告、公表された
- ・ 12の指標で悪化傾向であるなど、生物多様性の損失が進行
- ・ また、この15の指標以外にも以下のような生態系等の悪化状況を明示
 - －2000年以降、毎年600万 ha の原生林が喪失
 - －1970年から2000年の間、内水面の生息種、海洋及び陸域の生息種の個体数(average species abundance)は、それぞれ50%、30%減少
 - －地球規模での資源に対する需要は、地球が資源を再生産する能力を約20%超過

(* GBO : 生物多様性条約事務局が条約の実施状況を把握するために作成。2001年に第1版(GBO)を公表)

表 GBO2による生物多様性の状況に関する評価結果

＜分野:フォーカルエリア＞		評価結果
GBO2で評価を行った指標		
＜多様性の構成要素の状況と傾向＞		
特定の生物群系、生態系及び生息地の規模の推移		悪化
特定の種の個体数及び分布の推移		悪化
保護地域の指定範囲		改善
絶滅のおそれのある種の指定の変更		悪化
主な家畜、栽培種及び養殖魚の遺伝的多様性の推移		悪化
＜持続可能な利用＞		
持続可能な森林、農地生態系等の面積		悪化
生態系フットプリント及び関連する概念		悪化
＜生物多様性への脅威＞		
窒素の集積		悪化
外来生物の傾向		悪化
＜生態系の健全性と生態系による財、サービスの提供など＞		
海洋食物連鎖指数		悪化
生態系の連続性と分断性		悪化
水域生態系の水質		悪化/改善
＜伝統的知識、革新、慣行などの状況＞		
固有の言語の多様性の状況と言葉を話す人の数		悪化
＜利益へのアクセス及び配分の状況＞		
開発中		不明
＜資源の移転の状況＞		
条約の支援のために提供されたODAの額		悪化